

はなみずきのまちだより

■編集・発行／社会福祉法人名古屋市千種区社会福祉協議会

■ホームページ／<http://www.chikusa-shakyo.jp/>

今年も 赤い羽根共同募金 がはじまりました！

今年も10月1日から12月31日まで、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われます。愛知県共同募金会が実施主体となり、千種区や愛知県内の福祉活動のために募金が役立てられます。

例えば、こんなところにみなさまの募金が使われます。

地域に暮らす方の交流の場や、高齢者を対象とした孤立防止のための見守り活動など



見守りボランティア会議の様子

地域住民を対象としたイベントや、子ども向けの図書や遊び場の提供など



子育て広場

災害ボランティアセンター



災害時に備え、被災住民を支えるための活動を行う「災害ボランティアセンター」や福祉施設の復旧に使うお金の積み立てなど



手をつなぐ育成会と千種図書館の連携事業の様子



高齢者や障がい者、子ども等、様々なテーマで活躍する支援団体の活動など



特集

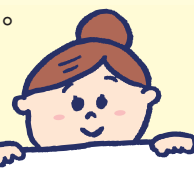


体験・経験 を 学び に



学生が施設と地域をつなぐ「月1カフェ」スタート!

現在、福祉をテーマにしたコラボレーション(協働)を様々な団体へ働きかけています。
区内には高校・大学・専門学校が多くあることから、そこに通う学生も福祉・地域活動の大切なパートナーと捉えて積極的にお願いしています。



コミュカフェ in 藤美苑

きっかけは、昨年度開催した愛知淑徳大学コラボメッセの出展。長久手市の施設で交流の場「カフェ(サロン)」を開催している学生グループ「コミュカフェ」のメンバーが、社協ブースに立ち寄ってくれました。

学生さんから「活動の場を広げたい!千種区で開催してみたい」と意気投合。

その後、長久手市での活動拠点がなくなったのを皮切りに、千種区内での活動に向け、施設との調整・企画・広報活動について社協が支援しました。



コミュカフェメンバー

長久手市の施設での活動



PR

コミュカフェのご案内

日にち: 11月19日(日)
時間: 10:00~12:00
場所: 特別養護老人ホーム 藤美苑
(千種区鍋屋上野町字北山3515番地)

土日に活動できる学生と地域住民に施設を活用してほしい「特別養護老人ホーム藤美苑」とのマッチングが進み、平成29年10月から月に1回、カフェを開催することとなりました。

「施設利用者もお子様連れから高齢者まで地域住民の交流と楽しめる場が生まれ、カフェに参加した住民が自然に挨拶を交わし、住みやすい地域になる架け橋ができればいいと思います」と話す代表の村松亜美さん。皆さんに知ってもらい、学生さんが主体となって活動が継続するようサポートしていきます。

PR

ふくしPRキャンペーン in 千種図書館2017 子育て応援企画

開催期間 平成29年10月18日(水)~10月28日(土)

記念イベント

内容

「パパとあそぼう♪」10月28日(土) 13:30~14:30

うた・お話・身体を使った(少しダイナミックな)あそびなど保育士さんと一緒に遊びましょう。

※託児はありませんが、パパのみ・ママのみの参加も可能。

(対象:乳幼児・パパ・ママ、定員:20組 千種区社協へ10月11日(水)~25日(水)までに申込・先着順)

展示

10月18日(水)~10月28日(土) (最終日は、午後2時半まで)

千種図書館の展示コーナーにおいて福祉や災害時に役立つ情報、おすすめ図書の紹介パネルや赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールのポスター・書道作品の入賞・入選作品を展示いたします(なお、入賞作品は愛知県共同募金会へ作品を提出するため、複写での展示となります)。

第69回 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール審査結果

今年度も、区内小中学校の生徒の皆さんから共同募金運動を啓発するポスター・書道を募集したところ、多くの作品をいただきました。多数のご応募ありがとうございました。



ポスターの部

佳作



金賞 大和小学校5年生
小川 ジョイ



銀賞 田代小学校4年生
鈴木 麗世



東山小学校1年生
早川 湊



千種小学校3年生
加藤 真衣



振南中学校2年生
尾崎 文菜



千種台中学校3年生
石川 結千



千種中学校3年生
野村 新

入選	東山小学校 2年生 横井 陽色	宮根小学校 3年生 小寺 永真	宮根小学校 5年生 小林 茉咲	東山小学校 5年生 鈴木 太陽	富士見台小学校 6年生 鈴木 友梨
	春岡小学校 6年生 白田 陽菜	田代小学校 6年生 谷田 萌	田代小学校 6年生 矢野 伶奈	振南中学校 2年生 野田 陸斗	梶山学園中学校 2年生 麓見 朱音



書道の部

佳作



金賞 梶山学園大学
附属小学校6年生
金子 理咲



銀賞 千種台中学校
3年生
三浦 琉奈



春岡小学校3年生
岡崎 凜



東山小学校4年生
立松 侑純



上野小学校5年生
横井 那帆



梶山学園中学校1年生
中垣 美祐



若水中学校3年生
山田 佳凜

入選	梶山学園大学 附属小学校3年生 江口 鋒弥	梶山学園大学 附属小学校4年生 波多野 妃香	星ヶ丘小学校 4年生 小林 布実	高見小学校 5年生 加藤 桜子	大和小学校 6年生 石原 聖都
	田代小学校 6年生 山田 笑花	東山小学校 6年生 藤井 絢子	振南中学校 1年生 山口 珠璃	千種台中学校 2年生 伊丹 真子	梶山学園中学校 3年生 藤重 海夕

★書道・ポスター作品展のご案内★

千種区内の小・中学校の生徒から応募していただいた書道とポスターの作品の中からそれぞれ佳作・入選した作品を展示します。ぜひ、子どもたちの力作を見にご来場ください。(なお入賞作品は複写での展示となることがあります。)

展示日	展示時間	場所
10月3日(火)～13日(金)	9:00～17:00	千種区役所1階あじさいひろば
10月18日(水)～28日(土)	9:30～19:00(火～土) 9:30～17:00(日・祝) ※最終日は14:00まで	千種図書館
11月2日(木)～11月17日(金)	9:00～17:00	千種区在宅サービスセンター(千種区社会福祉協議会)

●愛知県共同募金会特賞・審査員特別賞・金賞・銀賞の作品は以下の会場でも展示されます。

展示日	展示時間	場所
10月13日(金)～20日(金)	10:00～18:00 最終日のみ12:00まで	NHK名古屋放送センタービル 1階(プラザ)

募金の
見える化

平成29年度

ボランティア・NPO応援助成事業を実施しました。

公開プレゼンテーション式!

7月8日、共同募金配分金を財源に区内で活動するボランティア団体やNPO法人が行う福祉のまちづくり活動資金を助成する公開プレゼンテーション審査会を開催いたしました。

今年度は、書類審査を通過したボランティア団体・NPO法人計9団体(内、新規1団体)がパワーポイントを使ったスライドショーやパネル、アンケート結果の報告、ダンス、実演など工夫を凝らして活動内容を発表していただきました。小学生親子・高校生・大人など幅広い層の方が審査員となり助成額の査定をいたしました。

発表後は、交流会を設け、団体同士が情報交換するなど活動の幅をひろげる機会になりました。皆様からいただいた募金を大切に、千種区の町を良くする活動を応援していきます。



公開プレゼンテーション審査会の様子

団 体 名	事 業 内 容
特定非営利活動法人 花*花	「第12回 花*花ふれ愛まつり」
高見まちづくりを考える会	「だれもが安心して幸せに生活できるまち」づくりをめざして「高見まちづくり構想」の実現のために
らっこの会	おはなしランド
ORIGAMI(折り紙)クラブ	「わくわくORIGAMI(折り紙)」教室の開催
グループきらら	懐かしい紙芝居で楽しもう
若水おやじの会	若水おやじの会・親子もちつき大会と花もち創作
千種パソコン支援ボランティア	初心者や高齢者向けのパソコン講座の開設や出前講座などIT支援活動
災害ボランティアちくさネットワーク	災害時のボランティアセンター運営体制を整え、区民への啓発活動を充実させる
特定非営利活動法人 名古屋コダーイセンター	お母さんと子どもの食育 ～作って食べることを通して日本の食文化を子どもに伝える～

「サロン担い手養成講座ーサロンやろまい!講座ー」を開きました!

7月5日、千種区在宅サービスセンターにおいて、「サロン担い手養成講座ーサロンやろまい!講座ー」を開き、サロン運営に興味のある方6名とサロン運営者5名の方にご参加いただきました。

参加された方は、サロン運営者から「生の声」を聞き、それぞれの思いを新たにするとともに、自分なりのサロンへの関わり方を学ばれていました。

「サロン主催者サロンーあなたが元気でなくっちゃ!ー」を行ないました!



7月28日、千種区在宅サービスセンターにおいて、「サロン主催者サロンーあなたが元気でなくっちゃ!ー」を行ない、サロン運営者22名の方にご参加いただきました。

今回のサロンでは、日本福祉大学准教授 荒深先生の声掛けに合わせ、コグニサイズをみんなで楽しく学びました。その後、ボランティア鯉城会の出してくれたおいしいコーヒーを飲みながら、完成したての「サロンかわら版」(区役所あじさい広場にて掲出中)をネタに話に花を咲かせたり、サロンの情報交換をしたり、楽しい時間を過ごしました。

ちくさあったかカフェを開催! ～千種区ボランティア連絡協議会～



高齢者やそのご家族が、ホッとできるようなひとときを過ごしていただけるような場所を!との想いで、9月4日に「ちくさあったかカフェ」を開催しました。

当日は、参加者35名、ボランティア11名と大変な賑わいで、ボランティアによる腹話術、折り紙、ハンドマッサージなどのプログラムをお楽しみいただきました。

ご協力いただいた
皆様

●腹話術/北島洋子 様
●ORIGAMI倶楽部

●千種区西部いきいき支援センター
●シニアメイクボランティア「すみれ」



高齢者の約4人に1人が認知症の方またはその予備群といわれています。高齢化の進展に伴い、平成24年には462万人(約7人に1人)であった認知症の方が、2025年(平成37年)には、約700万人(約5人に1人)まで増加するといわれています。いきいき支援センターでは、認知症の方も住み慣れた地域で生活できるように、様々な取り組みを行っています。今回は、いきいき支援センターでこの夏行った、認知症への取り組みについてご紹介します。



「認知症買い物セーフティネット」

8月27日にアピタ千代田橋店にて、「認知症買い物セーフティネット」の啓発イベントを、認知症の人と家族の会愛知県支部のみなさんと一緒に開催しました。

認知症になると同じものをいくつも買ってしまったり、お金を上手く支払う事ができなかったり、店の中で迷ってしまう等、買い物をする場面で様々な困り事が発生します。

「認知症買い物セーフティネット」とは、お店や地域の皆さんに認知症について知って理解していただく事で、買い物を通じて地域の中で認知症の人を見守る支援の輪を作っていく取り組みです。当日はたくさんの方にブースへ来ていただき、ゲーム等を通して認知症について知っていただくきっかけができました。



「いきいき支援センターオリジナルうちわ」

いきいき支援センターのうちわを作成しました。うちわでは、いきいき支援センターが「高齢者の総合相談窓口」として認知症に関する様々な相談に応じていることや、センターが行なっている認知症に関する様々な取り組みを紹介しています。

作成したうちわは地域の郵便局や銀行、サロン等色々な機関へ配布させていただきました。

配布先の一つである春岡郵便局の局長、山本浩司様にその後の反響をお伺いしたところ、「年金支給日に置かせていただいたので、比較的高齢の方が手に取られたようでした。また郵便局にお客様としていらっしゃるの若い方も多く、お子様の世代にとっても、いきいき支援センターの事を知ってもらえるきっかけにもなったと思います。」とお答えいただきました。

春岡郵便局では、通帳を何度も紛失する等認知症の疑いがある方に気付いたら、いきいき支援センターに連絡していただくという支援体制もできています。

上記のように、いきいき支援センターは地域で連携のできる拠点を作り、いきいき支援センターのPRもさせていただくという取り組みを行っています。

これからも認知症の方が安心して暮らす事のできるまちづくりを、地元の企業や団体、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思えます。皆さんも是非、認知症について気になる事や困っている事があれば、お気軽にいきいき支援センターまでご相談ください。

高齢者の健康・福祉・介護のご相談は・・・

東部いきいき支援センター

担当学区
大和、上野、東山、星ヶ丘、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋

電話 781-8343

FAX 781-8346

桜が丘11-1 ソフィアビル1階

東部いきいき支援センター分室

宮根台1-4-24 山内ビル1階

電話 726-8944 FAX 726-8966



西部いきいき支援センター

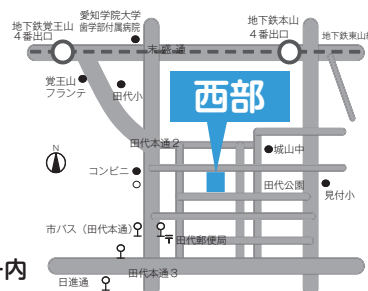
担当学区
千種、千石、内山、高見、春岡、田代、見付

電話 763-1530

FAX 763-1547

西崎町2-4-1

千種区在宅サービスセンター内





千種区ボラ連を知ろう!

千種区ボランティア連絡協議会（ボラ連）では、登録するボランティア団体の活動を知っていただく場として「ボラカフェ」を開いています。どなたでもお気軽にご参加いただけるよう、コーヒー・お茶菓子を用意してお待ちしています。ぜひ、お立ち寄りください。

災害ボランティアちくさネットワーク



「災害ボランティアセンター」を知っていますか？

大災害が起こると、助けを求める被災者と、救援のために集まるボランティアを「つなぐ役割」を担う、「災害ボランティアセンター」がつけられる場合があります。私たちの第一の目的は、千種区でセンターが設置された場合、行政や社協とともに、そのセンター運営に協力することです。



日頃は、自分達のスキルアップをかね、防災イベントに参加協力したり、講座を行ったりするなど、防災・減災の啓発活動をしています。また、全国の被災地で、実際に「災害ボランティア」として救援活動を行うメンバーもあり、その経験や知識を活動に活かしています。

視覚障がい者ガイドボランティア「青空」

第8回

ボラカフェ

日時：平成29年12月5日（火）
13:30～

場所：千種区在宅サービスセンター
研修室



目の不自由な方の目となり安全、安心、楽しさをモットーに同行ガイドをしています。依頼者とともに好天、雨天にかかわらず、ガイドを約束した当日に予定の行程を無事終え依頼者から「ありがとう、助かりました」の一言が緊張から解放され疲れも癒されます。

また福祉教育の一環として千種区内の小中学校で子どもたちがアイマスクをつけて行動し、目の不自由な方の日常生活を体験する講義を千種区社協と合同で行っています。

ガイド同行情報は市社協ボランティアセンターからお知らせがあり、依頼者とガイドがマッチングした日時に活動します。



(作) あいち造形デザイン専門学校 まんが科
矢倉 チエミさん

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。

〈平成29年6月23日～平成29年9月26日〉

- 株式会社 美濃庄 様
- 名古屋ヤクルト販売 株式会社 様
- 匿名 様

以上3件

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会（千種区在宅サービスセンター内）

〒464-0825／名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

●お問い合わせ先

TEL 【代表】 052-763-1531
 【ボランティアセンター】 052-763-1536
 【千種区西部いきいき支援センター】 052-763-1530
 【千種区介護保険事業所】 052-763-7842
 【デイサービス】 052-763-1331

FAX 052-763-1547

ホームページ



<http://www.chikusa-shakyo.jp>